

大阪市体験型指導プログラム 指導案

1. プログラム名

「ワーク・ライフ デザインプログラム」

2. テーマ

Session1 : 「働く」ということ

Session2 : 「働く」ことの現実とこれから

Session3 : 将来に向けて

3. テーマ設定の理由

高校卒業後、進学や就職など人生の大きな岐路に立っている。今後の人生において、目的を持って学び続け豊かな人生を送るためには、社会へ出ていくことを早い段階で意識させ、男女共に主体的に自分の将来を考え、興味や希望を抱く職業に向かって、可能性を広げていくことが重要である。「人はなぜ働くのか」「世の中の仕事・職業はどのようなものなのか」についてじっくりと考えさせ、後の進路選択に自ら積極的に取り組む姿勢を育てていきたい。

4. 指導計画

Session1 → **Session2** → **Session3**

5. 各時のねらい

Session1

- ① 「働く」意味を考え、様々な働き方があることを知る
- ② 「働く」目的を考え、働いている人の意見と比較し、新たな視点を獲得する
- ③ 自分の考え方・価値観によって、「働く」ことの意味合いが異なることを理解する。

Session2

- ① 世の中には沢山の仕事があることを知る。
- ② 同時に、「差」が生じていることを現実として受け止める。
- ③ その「差」を解消するために、社会が動いていることを理解する。

Session3 : 自分の考えと仕事

- ① 自分の価値観と職業とを結びつかせ、よりその職業への想いを深める
- ② 3日間の学びを整理、他者意見に触れることで、仕事観を広げる
- ③ 自分の将来設計をイメージさせることで、将来に対する不安を解消させる。

6. 各時の進め方 (タイムライン)

別紙